2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月10日

上 場 会 社 名	株式会社オークネット			上場取引所	東
コ ー ド 番 号	3964			URL	http://www.aucnet.co.jp/
代　　表　　者	(役職名)	代表取締役社長CEO	(氏名)	藤崎　慎一郎	
問合せ先責任者	(役職名)	取締役専務執行役員CFO	(氏名)	谷口　博樹	(TEL) 03(6440)2552
配当支払開始予定日		―			

決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：無

(百万円未満切捨て)

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	54,208	14.2	9,682	20.4	9,839	22.6	6,648	45.7
2025年12月期第３四半期	47,481	17.4	8,038	43.3	8,023	40.7	4,562	26.9

(注) 包括利益 2026年12月期第３四半期　6,738百万円(　54.5%)　2025年12月期第３四半期　4,360百万円(　15.1%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	73.23	―
2025年12月期第３四半期	49.93	49.93

(注)当社は、2025年４月１日付で普通株式１株につき２株の割合で株式分割を行い、2026年４月１日付で普通株式１株につき２株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、１株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額を算定しております。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	54,937	29,850	53.7
2025年12月期	50,781	26,622	51.9

(参考) 自己資本 2026年12月期第３四半期　29,523百万円　2025年12月期　26,346百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	―	22.00	―	36.00	58.00
2026年12月期	―	21.00 (42.00)	―		
2026年12月期(予想)				61.00 (122.00)	82.00 (164.00)

(注)１．直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

(注)２．当社は、2026年４月１日付で普通株式１株につき２株の割合で株式分割を行っております。2026年12月期の１株当たり配当金は、株式分割考慮後の金額を記載しております。なお、株式分割考慮前における2026年12月期の１株当たり配当金は、()内に記載しております。

(注)３．2026年12月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当 22円00銭 特別配当 39円00銭

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	75,000	16.9	12,000	26.1	12,000	26.0	7,800	31.7	85.91

(注)１．直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

(注)２．当社は、2026年４月１日付で普通株式１株につき２株の割合で株式分割を行っております。2026年12月期の連結業績予想（通期）における１株当たり当期純利益については、株式分割考慮後の金額を記載しております。

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　　：　有

新規　　２社　（社名）　株式会社yep、yet Company Limited

除外　　２社　（社名）　株式会社メネルジア、AUCNET DIGITAL PRODUCTS USA, LLC.

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　有

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	96,052,800株	2025年12月期	96,052,800株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	5,224,162株	2025年12月期	5,332,162株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	90,789,739株	2025年12月期３Ｑ	91,373,212株

（注）当社は、2025年４月１日付で普通株式１株につき２株の割合で株式分割を行い、2026年４月１日付で普通株式１株につき２株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」、「期中平均株式数」を算定しております。

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　　：　無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P.５の「１.当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 4
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 5
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 6
（１）四半期連結貸借対照表 …… 6
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 8
四半期連結損益計算書 …… 8
第３四半期連結累計期間 …… 8
四半期連結包括利益計算書 …… 9
第３四半期連結累計期間 …… 9
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 ……10
（継続企業の前提に関する注記） ……10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） ……10
（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） ……10
（セグメント情報等） ……11
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記） ……13
（重要な後発事象） ……13

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当第３四半期連結累計期間の末日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

当社グループは、「価値あるモノを、地球規模で循環させる。～Circulation Engine.」をサステナビリティポリシーと掲げ、循環型マーケットの構築に取り組んでいます。市場に出た価値あるモノを停滞させることなく循環させる仕組みづくりに寄与し、持続可能な社会に貢献する企業として、社会的価値、経済的価値の更なる向上に努めております。

2026年２月に更新した、中期経営計画「Blue Print 2027」では、世界中のパートナーと共にサーキュラーエコノミーの未来を創造することを目指し、長期目標としてGCV１兆円、中期定量目標として①EBITDA135億円、②ROE15-20%、③配当性向50%以上を掲げています。その達成に向け、安定した事業基盤のもと持続的成長を加速させ、次のステージに向けた更なる経営基盤の拡充を推進します。

このような計画に基づき、事業を推進した結果、当第３四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は54,208,731千円(前年同期比14.2%増）、営業利益は9,682,477千円（前年同期比20.4%増）、経常利益は9,839,718千円（前年同期比22.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6,648,624千円（前年同期比45.7%増）となりました。

	2026年12月期 当第３四半期連結累計期間	前年同期比 増減率
売上高	54,208,731千円	+14.2%
営業利益	9,682,477千円	+20.4%
経常利益	9,839,718千円	+22.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	6,648,624千円	+45.7%

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

（ライフスタイルプロダクツセグメント）

当セグメントは、デジタルプロダクツ事業及びファッションリセール事業で構成されています。

①デジタルプロダクツ事業

デジタルプロダクツ事業は、中古スマートフォン・中古PC等の中古デジタル機器のオークション及び消費者向けを含む流通に付随するサービスを展開しています。

GIGAスクール端末を含むソーシング先の多様化に注力したことにより流通台数が増加したほか、為替の影響も相まって平均成約単価が好調に推移し、取扱高は増加しました。また、欧州地域の機能強化を図るとともに、国内外問わず新規会員の獲得及び既存会員のアクティブ化を推進し、バイイングパワーの強化によるオークションの活性化に注力しました。

	2026年12月期 当第３四半期連結累計期間	前年同期比 増減率
取扱高　（百万円）	77,107	+24.7%
流通台数　（台）	2,240,528	+12.6%
会員数　（会員）	2,217	+9.1%

②ファッションリセール事業

ファッションリセール事業は、バッグ、時計、貴金属、衣類等の主にブランド品のオークション及び消費者向けを含む流通に付随するサービスを展開しています。

BtoB事業では、出品点数は減少したものの、高単価商品の割合が増加したことにより平均成約単価が上昇し、取扱高は堅調に推移しました。また、高単価商品の流通強化を継続しつつ、８月からはオペレーションセンターのキャパシティを拡張し、低単価商品の取扱いを一部再開しました。

C向け事業では、円安によるインバウンド需要と株高による国内需要が継続したものの、当第３四半期では一部商品相場の下落や天候不順による来店客数減少の影響により、取扱高は軟調に推移しました。

		2026年12月期 当第３四半期連結累計期間	前年同期比 増減率
BtoB事業	取扱高　　（百万円）	41,624	+7.3%
	出品点数　　（点）	1,026,342	△11.4%
	成約点数　　（点）	683,616	△6.3%
	会員数　　（会員）	7,981	+22.8%
C向け事業	取扱高　　（百万円）	15,687	+13.5%

当第３四半期連結累計期間の売上高は39,273,217千円（前年同期比17.8%増）、営業利益は7,628,579千円（前年同期比12.9%増）となりました。

	2026年12月期 当第３四半期連結累計期間	前年同期比 増減率
売上高	39,273,217千円	+17.8%
営業利益	7,628,579千円	+12.9%

（モビリティ&エネルギーセグメント）

当セグメントは、オートモビル事業及びモーターサイクル事業で構成されています。

①オートモビル事業

オートモビル事業は、中古車オークション（※１）、共有在庫市場（※２）、ライブ中継オークション（※３）、落札代行サービス（※４）及び車両検査サービス（※５）等を展開しています。

当事業と関連の深い自動車業界では、当第３四半期連結累計期間の新車登録台数（※６）は、前年同期比2.3%増の354万台、中古車の登録台数（※７）は、同0.1%増の493万台、中古車オークション市場の出品台数（※８）は、同4.3%増の633万台、成約台数（※８）は、同4.1%増の431万台となりました。

輸出事業者の落札需要が継続して高く、共有在庫市場、ライブ中継オークション、落札代行サービスで総成約/落札台数が増加したことに加え、平均成約単価が上昇したことにより取扱高は増加しました。また、新基幹システム「BASE」（前年第２四半期から継続）や会員向けサイト「AUCNET CARS」（前年第３四半期から継続）の償却費を計上しているものの、従業員向け株式報酬（前年第２四半期に発生）の剥落により、利益率が上昇しました。

	2026年12月期 当第３四半期連結累計期間	前年同期比 増減率
取扱高　　（百万円）	500,581	+20.2%
総成約/落札台数　（台）	466,074	+11.4%
会員数　　（会員）	16,274	+1.7%
検査台数（※９）（台）	1,224,948	+5.3%

②モーターサイクル事業

モーターサイクル事業は、中古バイクオークション（※１）、共有在庫市場（※２）、落札代行サービス（※４）、車両検査サービス（※５）及びレンタルサービス等を展開しています。

当第３四半期連結累計期間の売上高は12,651,832千円（前年同期比5.1%増）、営業利益は3,546,489千円（前年同期比23.7%増）となりました。

	2026年12月期 当第３四半期連結累計期間	前年同期比 増減率
売上高	12,651,832千円	+5.1%
営業利益	3,546,489千円	+23.7%

（※１）中古車・中古バイクオークションとは、当社が主催するオンラインで行う会員制のリアルタイムの中古車・中古バイクオークションのことです。
（※２）共有在庫市場とは、当社の会員ネットワークを活用し、会員が所有する中古車・中古バイクの店頭在庫の情報を会員間で共有し取引する市場のことです。
（※３）ライブ中継オークションとは、当社が業者間取引の市場である現車オークション会場と提携し、現車オークション会場が主催するオークションを中継するサービスのことです。
（※４）落札代行サービスとは、株式会社アイオークが業者間取引の市場である現車オークション会場等に出品される中古車・中古バイクの落札・出品・決済・輸送の代行を行うサービスのことです。
（※５）車両検査サービスとは、株式会社AISが出品車両の検査及び車両検査技能に関する研修を行うサービスのことです。
（※６）一般社団法人日本自動車販売協会連合会統計資料より
（※７）一般社団法人日本自動車販売協会連合会統計資料及び一般社団法人全国軽自動車協会連合会の統計資料より
（※８）2026年ユーストカー総合版＋輸出相場版より
（※９）中古自動車及び中古バイク検査台数の合算値です。

（その他）

当事業は、アグリ事業及びサーキュラーコマース事業等で構成されています。

アグリ事業では、花きのオンラインオークションや現物市場の運営及び胡蝶蘭の生産・販売を行っています。サーキュラーコマース事業では、パートナーに対して二次流通事業の創造を支援するサービスを展開しています。なお、第１四半期連結会計期間の期首より、株式会社yep及びyet Company Limitedを連結対象としており、２社の業績を含めています。

当第３四半期連結累計期間の売上高（セグメント間の内部売上高を含む。）は2,811,582千円（前年同期比13.1%増）、営業損失は297,729千円（前年同期は営業損失227,120千円）となりました。

	2026年12月期 当第３四半期連結累計期間	前年同期比 増減率
売上高	2,811,582千円	+13.1%
営業損失(△)	△297,729千円	－

（２）財政状態に関する説明

当第３四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて4,156,041千円増加し、54,937,794千円となりました。これは主に、未収消費税等が2,680,462千円、オークション貸勘定が1,978,450千円、投資その他の資産が1,359,173千円増加したものの、現金及び預金が2,103,909千円減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて928,405千円増加し、25,087,568千円となりました。これは主に、オークション借勘定が1,860,605千円、買掛金が66,871千円増加したものの、未払法人税等が694,596千円、その他の引当金が430,243千円減少したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて3,227,636千円増加し、29,850,225千円となりました。これは主に、利益剰余金が3,060,046千円増加したことによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2026年８月４日に公表している業績予想に変更はありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,104,387	21,000,477
受取手形、売掛金及び契約資産	1,967,398	1,832,047
未収消費税等	2,872,999	5,553,462
棚卸資産	4,410,473	4,555,040
オークション貸勘定	6,456,355	8,434,806
その他	1,986,626	1,925,422
貸倒引当金	△155,477	△156,436
流動資産合計	40,642,763	43,144,820
固定資産		
有形固定資産	1,939,732	2,146,203
無形固定資産		
のれん	194,880	127,107
その他	2,569,854	2,725,967
無形固定資産合計	2,764,735	2,853,075
投資その他の資産	5,434,521	6,793,694
固定資産合計	10,138,989	11,792,973
資産合計	50,781,752	54,937,794

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	949,015	1,015,886
オークション借勘定	15,161,139	17,021,744
未払法人税等	2,317,939	1,623,343
その他の引当金	946,699	516,456
その他	2,422,759	2,459,112
流動負債合計	21,797,554	22,636,543
固定負債		
退職給付に係る負債	850,233	859,690
株式給付引当金	214,115	215,459
その他	1,297,260	1,375,874
固定負債合計	2,361,608	2,451,024
負債合計	24,159,163	25,087,568
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,807,303	1,807,303
資本剰余金	2,778,816	2,840,261
利益剰余金	24,264,293	27,324,340
自己株式	△2,988,831	△2,921,897
株主資本合計	25,861,581	29,050,007
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	155,533	153,205
為替換算調整勘定	249,918	256,658
退職給付に係る調整累計額	79,040	63,377
その他の包括利益累計額合計	484,492	473,241
非支配株主持分	276,514	326,977
純資産合計	26,622,589	29,850,225
負債純資産合計	50,781,752	54,937,794

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
売上高	47,481,147	54,208,731
売上原価	26,932,476	31,594,018
売上総利益	20,548,670	22,614,713
販売費及び一般管理費	12,509,918	12,932,235
営業利益	8,038,751	9,682,477
営業外収益		
受取利息	26,696	66,346
受取配当金	74,862	55,587
持分法による投資利益	18,268	94,067
補助金収入	26,673	－
その他	82,218	50,853
営業外収益合計	228,718	266,855
営業外費用		
支払利息	180	261
為替差損	226,304	83,980
その他	17,900	25,372
営業外費用合計	244,385	109,614
経常利益	8,023,085	9,839,718
特別利益		
関係会社清算益	8,901	277
投資有価証券売却益	504,720	－
段階取得に係る差益	16,166	－
事業譲渡益	－	15,000
その他	291	1,210
特別利益合計	530,080	16,487
特別損失		
減損損失	986,200	－
固定資産除却損	2,539	11,432
その他	63,958	－
特別損失合計	1,052,698	11,432
税金等調整前四半期純利益	7,500,466	9,844,774
法人税等	2,830,685	3,095,375
四半期純利益	4,669,781	6,749,398
非支配株主に帰属する四半期純利益	107,158	100,773
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,562,622	6,648,624

四半期連結包括利益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
四半期純利益	4,669,781	6,749,398
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△256,273	△2,328
為替換算調整勘定	△49,885	6,739
退職給付に係る調整額	△3,438	△15,662
その他の包括利益合計	△309,597	△11,251
四半期包括利益	4,360,183	6,738,146
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,253,024	6,637,372
非支配株主に係る四半期包括利益	107,158	100,773

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

前第３四半期連結累計期間(自　2025年１月１日　至　2025年９月30日)

１ 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	ライフスタイルプロダクツ	モビリティ＆エネルギー	計				
売上高							
オークション関連収益	11,684,531	7,735,972	19,420,503	845,222	20,265,726	－	20,265,726
商品販売関連収益	21,564,755	613,377	22,178,133	576,074	22,754,207	－	22,754,207
その他	82,775	3,685,749	3,768,524	692,687	4,461,212	－	4,461,212
顧客との契約から生じる収益	33,332,061	12,035,099	45,367,161	2,113,985	47,481,147	－	47,481,147
その他の収益	－	－	－	－	－	－	－
外部顧客への売上高	33,332,061	12,035,099	45,367,161	2,113,985	47,481,147	－	47,481,147
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	371,205	371,205	△371,205	－
計	33,332,061	12,035,099	45,367,161	2,485,190	47,852,352	△371,205	47,481,147
セグメント利益又は損失（△）	6,755,311	2,865,926	9,621,237	△227,120	9,394,117	△1,355,365	8,038,751

（注）１．「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アグリ事業及びサーキュラーコマース事業等を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△1,355,365千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２ 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

３ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「ライフスタイルプロダクツ」セグメントにおいて、JOYLAB株式会社が保有する固定資産及び当該子会社に係るのれんについて減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第３四半期連結累計期間においては978,050千円であります。

当第３四半期連結累計期間(自　2026年１月１日　至　2026年９月30日)

１ 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	ライフスタイルプロダクツ	モビリティ＆エネルギー	計				
売上高							
オークション関連収益	13,070,790	8,564,566	21,635,356	893,992	22,529,349	－	22,529,349
商品販売関連収益	26,067,958	349,067	26,417,026	816,994	27,234,020	－	27,234,020
その他	134,469	3,738,198	3,872,667	572,694	4,445,361	－	4,445,361
顧客との契約から生じる収益	39,273,217	12,651,832	51,925,050	2,283,681	54,208,731	－	54,208,731
その他の収益	－	－	－	－	－	－	－
外部顧客への売上高	39,273,217	12,651,832	51,925,050	2,283,681	54,208,731	－	54,208,731
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	527,901	527,901	△527,901	－
計	39,273,217	12,651,832	51,925,050	2,811,582	54,736,632	△527,901	54,208,731
セグメント利益又は損失（△）	7,628,579	3,546,489	11,175,068	△297,729	10,877,339	△1,194,862	9,682,477

(注) １．「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アグリ事業及びサーキュラーコマース事業等を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△1,194,862千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２ 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

３ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）、のれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	487,775千円	610,539千円
のれんの償却額	170,086 〃	92,968 〃

（重要な後発事象）

該当事項はありません。